第１１回　泉地域審議会会議録

開催日時	平成２１年３月２５日　１０時分～
開催場所	泉支所３階大会議室

■出席委員　１３名

会　長	澤田　一誠	副会長	山田　　豊	委　員	緒方　勢一
委　員	井上　泰子	委　員	黒木　智光	委　員	寺田　　浩
委　員	上田　希久代	委　員	松本　洋子	委　員	山本　　實
委　員	谷口　清和	委　員	中嶋　哲哉	委　員	橋本　辰子
委　員	木場　千穂子				

■欠席委員　　４名

委　員	廣岡　勝信	委　員	白石　安記	委　員	宮崎　友徳
委　員	藤崎　英信				

■出席職員

支所長	田上　高広	企画振興部長	永原　辰秋
総務課長	岩村　広人	地域振興課長	米田　健二
〃　総務人権係長	橋本　和郎	地域振興課課長補佐	澤田　宗順
市民福祉課長	東坂　　宰		
産業振興課長	立川　幸生		
建設課長	吉田　清一		

■傍聴者

一般傍聴者	０　名	報道機関	０　名

■協議事項

１．議題
　①平成 21 年度主要事業について（報告）
　②住民自治によるまちづくりについて（説明）
　③その他

（事務局）　出席者数により本審議会が成立する旨を述べ、支所長に開会宣言を兼ね挨拶を願う。

（支所長）　挨拶をなし、開会を宣する。

（事務局）　企画振興部長に挨拶を願う。

（企画振興部長）　挨拶をなす。

（事務局）　会長に挨拶を願う。
（会長）　挨拶をなす。
（事務局）　地域審議会の設置に関する事項の第７条第４項に基づき、会長に議長を願う。

――――　審議に入る　――――

（会長）　平成 21 年度主要事業について、事務局に報告を求める。
（事務局）　総務課長が資料に基づき、市主要事業及び総務課関係事業について報告をなす。
　雇用・景気対策で「雇用対策」「中小企業資金融資制度預託金」「資金融資制度信用保証料補給金」「八代市産業活性化利子補給事業」「道路維持等事業費の確保」「新増改築住宅等畳助成事業」「八代産材利用促進事業」の 7 点、総合計画「前期基本計画」に基づく重点プロジェクトから「活力ある産業プロジェクト」「人が集まるまちプロジェクト」「子どもが健やかに育つプロジェクト」「良好な環境を未来につなぐプロジェクト」「安心安全なまちプロジェクト」の 5 点について説明する。
　その他、支所各課長より課関係主要事業の報告を行う。
（会長）　雇用景気対策関係事業の報告に関する意見･質問等はないか委員に問う。
（委員）　意見なし。
（会長）　「前期基本計画」に基づく事業の報告に関する意見・質問等はないか委員に問う。
（委員）　観光振興について、現在日奈久地区にだけ予算が集中して使われているようです。観光振興は、市全体のバランスを考えて五家荘地区に対しても整備等に力を入れてほしいと思います。特に隣接し全国的にも取り上げられている、五木村との交流、連携を図るべきと考えます。それと観光ＰＲにも力を入れてもらいたい。マスコミ向けの広報宣伝を充実させるよう考えていただきたい。
（事務局）　現在本市は、五木村、氷川町、美里町で組織する、五木・五家荘県立自然公園連絡協議会に加入し、広域的な活動を続けている。今後、道路問題等も含めさらに連携を深めた取組みを実施していきたい。
　観光ＰＲの強化については、平成 21 年度観光協会への補助金の内の広報費について増額がなされましたので、今年度、八代よかとこ宣伝隊と協力して、福岡、佐賀、鹿児島方面へのキャンペーン活動を展開する予定です。
（会長）　八代市全体での観光に対する考え方はどのようになっているのかお聞かせ願いたい。

（事務局）　確かに現在は日奈久地区の整備に突出して予算が執行されていますが、これは国の補助を使った「まちづくり交付金事業」が5年計画でおこなわれているのであって、たまたま温泉地整備、埋立地公園整備があったため突出した次第です。特に、今年度が開湯 600 年に当たり、以前には、30万人が訪れていたものの現在は2万人まで落ち込んでいるため、集中して整備に力を入れています。

言われるとおり、八代市の観光振興は五家荘と日奈久が如何にタイアップしていくかが重要な課題であります。市の観光行政がイベントに忙殺されて、基本的な観光戦略の練り直しが遅れているのが実情であり、今後、市としても総合的な観光振興について取り組む必要があり、よかとこ宣伝隊等を効果的に活用しながら進めて行きたい。皆様からも積極的なご意見をいただけたらと思います。

（会長）　前回の審議会において、五家荘の委員から施設の展示物等が開所当時からぜんぜん変わらず、来場者にとって魅力のあるものとは思えない。各地に見られる、大学等教育機関等との連携で観光振興を進めているところもあるので、八代市もそのような取組みができないのでしょうか？

（事務局）　確かに施設の展示物について変化がないということは承知しています。調査、研究についてもされているところですが、予算化にはいたっておりません。また、大学等との連携につきましても、崇城大学、熊本大学、国立八代高専等と連携しいろいろな事業を行っているところです。そういった大学にも美術系、技術系のノウハウはありますので、お力をお借りしていけるものと思っています。具体的にはどういったことができるかというのは、今後の課題であると思います。

（事務局）　本年度において、展示物の更新等の予算要求を行ったところですが、本年度の予算編成計画が緊急対策事業となっており、見送られた状況ですが、来年度も引き続き要望していきたいと思います。

（会長）　他に質問がないか委員に問う。

（委員）　五家荘の観光を推進する上で一番大切なのは、交通アクセスであろうと思います。国道445号線の二本杉～下鶴間は2車線と改良が進んでいますが、美里町～二本杉、氷川流域から五家荘にいる県道3路線の改良が殆ど手付かずの状態で、女性、運転に自身のない方たちにとっては大きな不安となり、二度と訪れたくない所とまで言わせているようです。五家荘は、大分県の耶馬溪等に引けを取らないすばらしい資源を持っているところであり、気軽に行けるような環境の整備が必要ではないでしょうか。近隣の美里町、五木村と連携しながら県道・国道の改良を強く推進してほしいと思います。

（事務局）　毎年、熊本県に対し要望活動は実施しておりますが、現在、熊本県が九州新幹線の全線開通を優先に取り組んでいる状況であり、平成23年度の全線開通後からは、ある程度の予算確保が望めると思います。また、市道

五家荘椎葉線を県道に昇格させるための要望活動を、宮崎県椎葉村と促進期成会を組織し実施している。蒲島県知事と宮崎県の東国原知事を峠で握手させようと、精力的に関係機関が取り組んでいます。

（委員）　阿蘇の黒川温泉等が賑わいを見せておりますが、お客の大半が女性です。女性等でも気軽に行ける道路環境整備を進めることが集客の大きな要因であろうと思います。

（事務局）　県の実情を先ほど申しましたが、熊本市が政令指定都市に向けて周辺自治体との合併協議を進めていますが、熊本市が政令指定都市に移行した場合は、八代市が県下第一の市になります。そうなれば、又変わった展開になると考えます。国道 445 号線について、二本杉から下鶴間の完全二車線化までは 20 年程かかるのではと言われており、これからも県に対する要望活動に力を入れていきます。新幹線の乗降客を新八代駅から如何にして八代の地に呼び込むかが重要な課題であり、日奈久、五家荘の連携が鍵になると考えます。

（委員）　国道 445 号線について、二本杉から下鶴間の完全二車線化までは 20 年程かかるということだが、20 年後は今住んでいる住民がどれほど居るかわからないのですが、今の、観光をどうするのかを考えていかなければならないと思います。新幹線で訪れた客が、そこから五木・五家荘に行くための足がない状況です。そのあたりを十分考えてやっていかなければならないと考えるわけですが、現在では、受け入れ側の民宿旅館営業者による送迎にも規制があるため、集客に頭を悩ませている。そのあたりも踏まえて市としても考えていただき、旅行会社が計画し募った客を如何にして五家荘へ運ぶかも検討していただきたい。

（会長）　市として、今の観光をどうするのかについて、今後考えていただきたい。他に質問がないか問う。

（委員）　県道久連子落合線の改良工事について、畑の部分に 6m道路が通るということで期待して測量を許可したが、数年前に測量は完了したが一向に工事に取り掛からないようです。測量杭は畑の中に打ってあり、耕作に支障があるのですが、勝手に撤去してもよろしいでしょうか。

（事務局）　県に確認を取り、連絡いたします。

（事務局）　道路建設に伴う財源は、国の特定財源を使っております。最近は財源を一般財源化するとか、道路建設自体費用対効果が見込めないものについては中止するとか、国の道路建設に対する方針の変更等が持ち出されており、現在の状況に成っている。要望は今後も継続して行っていきますが、現時点では国の動向を見守るしかない状況です。

（会長）　予定している時間も過ぎているが、泉支所管内の主要事業に対する意見、質問はないか問う。

（委員）　質問なし。

（会長）　質問がないようであるため、次の住民自治について事務局の説明を求め

る。

（事務局）　現在の住民自治に向けた取り組み状況について説明します。資料については、各種団体との意見交換会においての結果。今後の想定スケジュールについて用意しております。この2点について説明いたします。

昨年7月29日から11月12日までに実施した、各種団体（33団体）との意見交換会の中ででた意見の集約について説明します。出された意見の中で一番多かったのが、財政支援に関する意見で42件ありました。次に多かったのが組織作りに関する意見で30件、具体的な資料の提示に関する意見22件と、重複整理後の265件（総数は400件超）の意見が寄せられました。

今後のスケジュールについては、現在実施している住民自治推進団体連絡会議をうけて、新年度から各種団体への個別説明会を実施し、9月を目処に意見集約を図り、市長具申の後行動計画案を取りまとめ、パブリックコメントや各地区の地域審議会の意見を求めながら年内に行動計画を策定し、年明けから全校区21地区に対する説明会を22年度にかけて実施していきます。市長の意向もあり、住民に対する説明に十分な時間をかけて、理解を深めながら住民自治によるまちづくりを推進していきます。

（会長）　本件についての意見を問う。

（委員）　事前に資料を送付していただいたので、目を通してみましたがいろいろな意見があり、住民自治を推進することは大変なことだという認識を改めて強くした。住民の理解を得るためには大きなエネルギーが必要であり、ましてやこれを定着させるためには長い時間がかかるのではと思います。そこで、関係する、特に身近な内容での会議等を増やすとかの対策が必要と考えます。住民への周知を図るために頻繁に会議なり説明会を開催してほしいと思います。

（事務局）　説明の中でも触れましたが、新年度では地域に直接出向いて個別の説明会を開催していきますので、その中で十分な説明を実施していく予定です。その他、小さな単位組織であっても、要望があれば説明会に出向いていきますのでご活用ください。

この問題は、先進地でも相当な期間とエネルギーを費やしていますので、市としましても時間をかけて粘り強く住民の皆さんの理解を深めながら実施していきますので、よろしくお願いします。

（会長）　他に意見がないか問う。

（委員）　泉校区ではどういった体制で行っていくのか決まっているのですか？

（事務局）　地域の組織の体系については、住民の方々の協議により、どういった形がより良い体制であるかを検討いただき決定をしていただくこととなります。基本的には、小学校区単位とか、中学校区単位ということになります。泉校区につきましては、地域が広いことから十分検討いただき決定していただきたいと思います。

（事務局）　泉支所のほうから今の件に付きまして、明日（26 日）五家荘地区におきまして地域振興会的な組織の立ち上げに向けた打合せ会が開催されます。それが直接住民自治組織という形につながるわけではありませんが、支所としましてはそのような形になればと思っています。地区への説明会等については、出前講座の制度等を使いまして周知を図って生きたい。

体系については、先般の校区長会議でも話がありましたが、まずは小さな区域で立ち上げ大きくしていく形がいいという意見がありました。具体的にいくつの区域という結論はでていない状況です。

（会長）　他に意見等がないか委員に問う。

（委員）　なし。

（会長）　市のほうで、モデル地域の候補地は考えているのか。

（事務局）　現在ではモデル地区はない。今後、先行モデル地区の希望を受け指定していきたい。現実的には、どの地区も住民自治のまちづくり的なことは大小なりに行っておられる。坂本校区においては地区振興会という組織で積極的に活動を行っておられる事例等もありますので、どこが手を上げられるかわからない状況です。

（委員）　モデル地域の選定に当っては、平坦地の大きな組織だけでなく、山間部の地域性を考慮いただき、泉地区からも選定していただきたい。

（事務局）　市としましては、多くの地域からモデル地区への希望があることを願っています。只今の意見は、貴重な意見として受けたいと思います。

（会長）　他に意見等がないか委員に問う。

（委員）　組織の運営には、人材が問題となってくる。リーダー等の人材育成とか市職員のかかわりが不可欠であると思われますが、職員等の協力は得られるのでしょうか。

（事務局）　職員の協力体制づくりの為には職員教育が大事ということで、これまでも研修を実施しています。今後も機会を設けて実施していきます。地区におけるリーダー等の人材育成のため、新年度で 4 回のセミナーを計画しています。積極的な参加をお願いします。

（委員）　泉校区区長会の会議では、3 から 4 単位に分けたら良いのではという意見があった。1 単位では、範囲があまりにも広く、まして五家荘地域には公共交通機関がないため参加できない等の弊害が予想される。しかし、あまりに小さくすると過疎化による住民の少ない地区では活動自体ができないということにもなるため、五家荘地区を 1 単位とした振興会の立ち上げがされようとしている。その振興会を住民自治組織へとつなげて行きたい。

（会長）　五家荘地区の振興会が泉校区のモデルとなるよう期待します。

（会長）　他に何かないか問う。

（委員）　なし。

（会長）　意見がないため他に事務局より連絡事項等がないか確認あり。

（事務局）　今回の会議をもって第二期の地域審議会が終了します。委員の皆様方には大変お世話になりました。新年度から委員数を削減し第三期の審議会が始まりますが、今回も公募による委員の募集を行いますので、市報 4 月号に応募用紙を添えて広報しますのでよろしくお願いします。

（会長）　それでは、特にないようですので、これで第 11 回泉地域審議会を終了します。なお、第二期の審議会も本日の会議で最後となりました。委員の皆様方には 2 年間の任期中、大変お世話になりました。これからも各分野での活躍をお祈りします。お疲れ様でした。